

◆平成31年1月～3月工事事故の状況◆

☆事故件数は「3件」とH30年の22件に比べ大幅に減少。

☆死亡事故の発生はなかった。

☆休業4日以上事故発生はなかった。

☆死亡事故の発生はなかった。

☆公衆災害が「1件」、労働災害が「2件」発生。

⇒ **事故減少に向けて、引き続き安全管理の徹底を！**

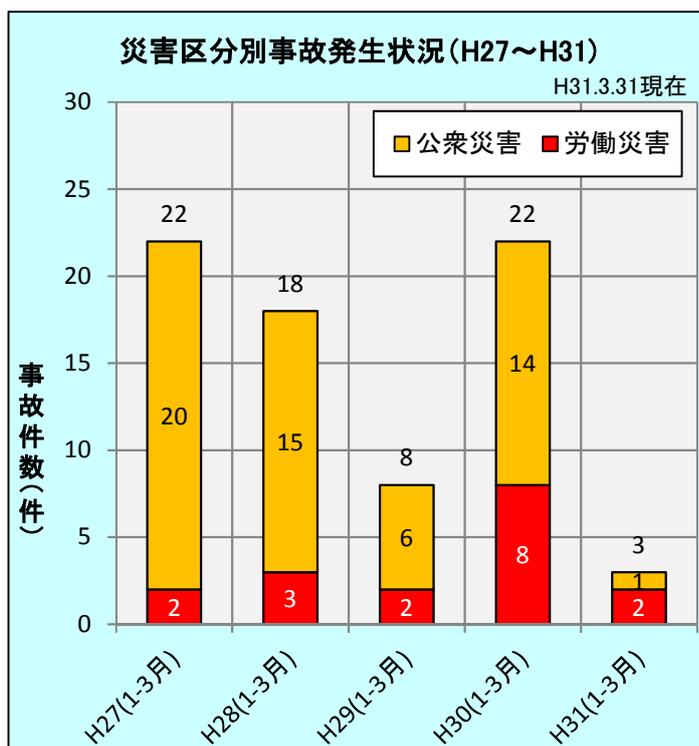
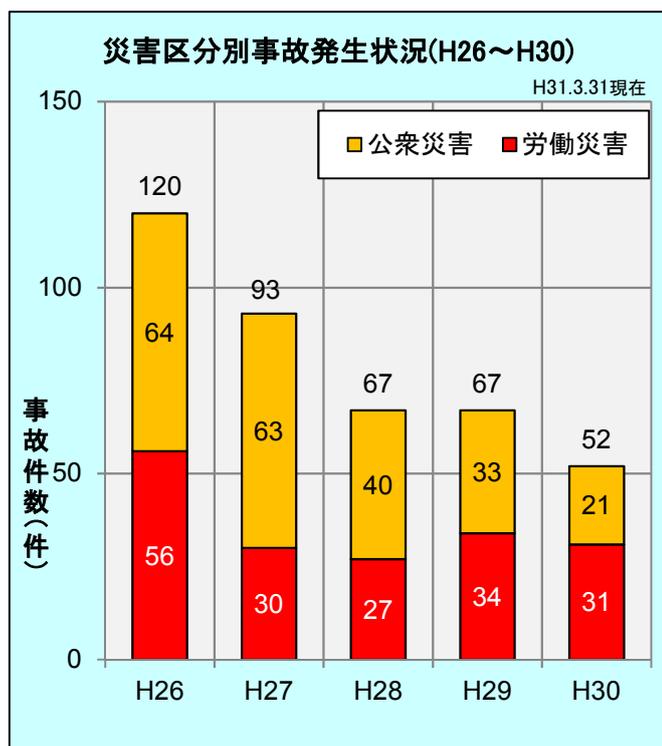
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 工事事故の発生状況

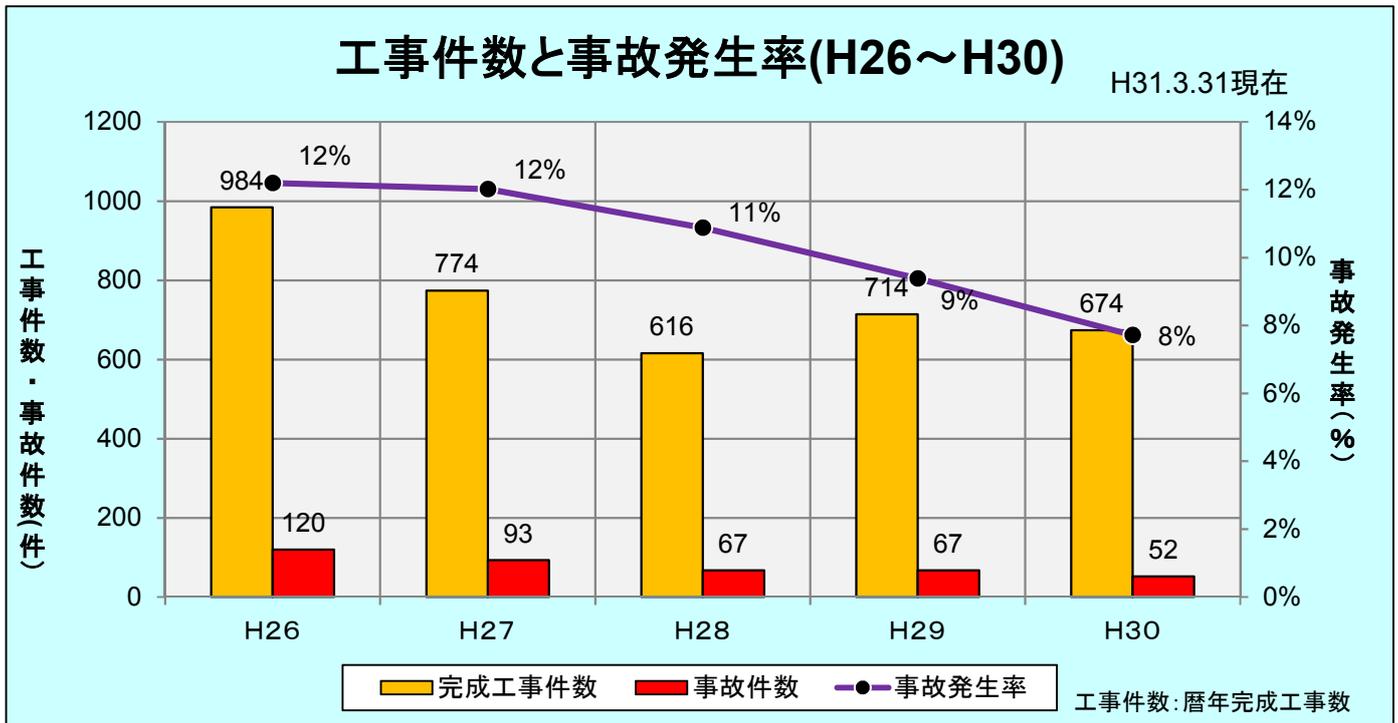
1) 各年の事故件数の推移

H30年の工事事故件数は52件と過去5年間と比較して最も少ない状況となっています。労働災害は31件と、昨年から3件減少し、公衆災害は21件と昨年から12件減少しています。



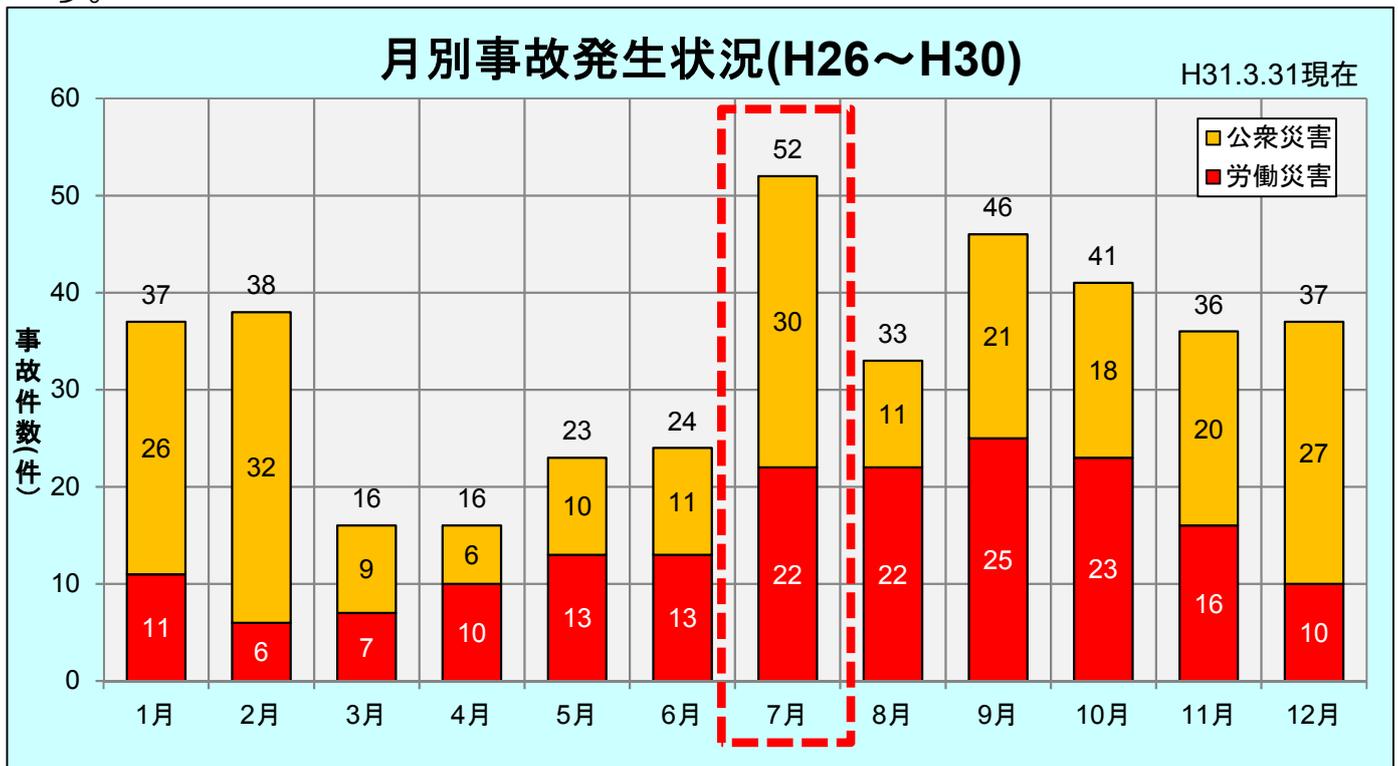
3) 各年の完成工事件数と事故発生件数

H26年以降、事故発生率は減少傾向となっていますが、依然として年間50件以上の工事事故が発生しています。



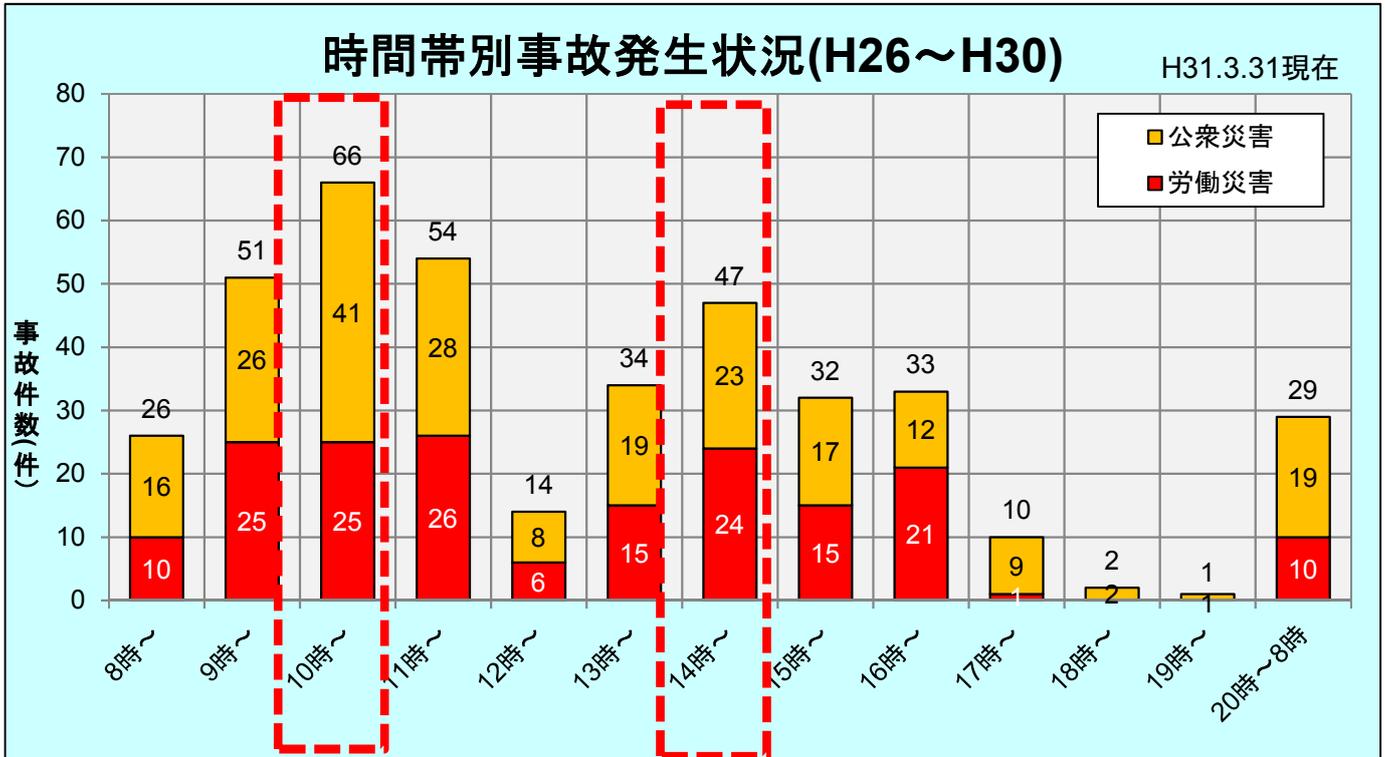
4) 月別事故発生件数

H26年以降の月別事故発生状況は7月に事故発生のピークが出現しています。



5) 時間帯別の事故発生件数

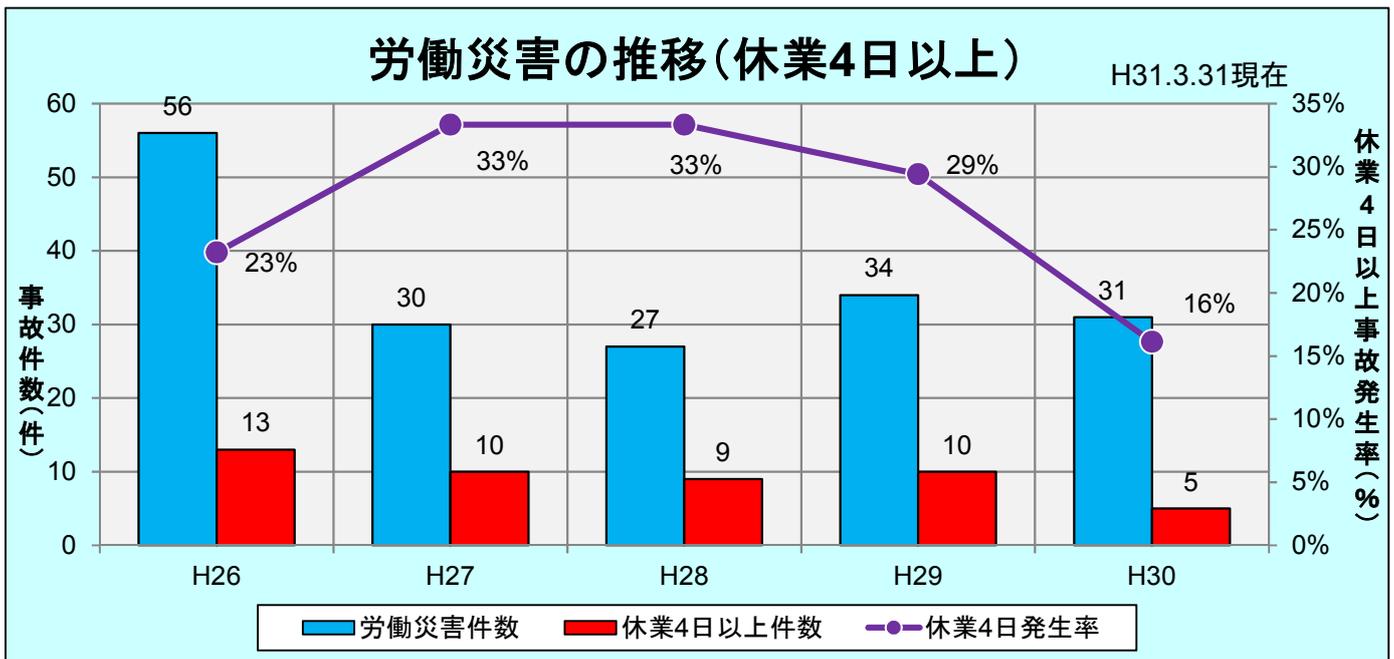
H26年以降の時間帯別事故発生状況は、午前は10時台、午後は14時台に多く発生しています。



2. 労働災害の発生状況

1) 休業4日以上事故発生状況

H30年の労働災害は31件、休業4日以上事故は5件発生し、昨年よりも労働災害は3件減少、休業4日以上事故は5件減少しています。また、労働災害に占める休業4日以上事故発生率は16%となっています。



建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・対象工事は、以下の通りです。
- ・登録の際は、主任監督員・受注者への事故番号、パスワードを主任監督員宛てに検査係より通知します。
- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。
- ・登録する対象工事

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 岩崎

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861